

『アニメ「鬼滅の刃」柱展 —そして無限城へ—』

新ミュージアム「CREATIVE MUSEUM TOKYO」（京橋） 24. 11. 02～25. 03. 02



東京・京橋に戸田建設の新ビルが完成し、6階に「新ミュージアム」が誕生して大空間で“柱”の個性、憩い、躍動に“全集中”！している。

この新ミュージアムは、「アーティゾン美術館」と隣接することから、アートファンの注目が集まっていて、同館の「こけら落とし」は、約1200㎡、天井高5mという大空間をふんだんに使って、鬼殺隊最高位の剣士たちである“柱”に焦点を当て、柱9人の魅力を下げながら、その憩いと共に無限城へと向かっていく催事である。

展示の冒頭映像で、9人の柱が終節する場面を楽しんだ後に、次の柱達が大グラフィックで紹介されるエリアへ入ると、柱の個性や生い立ち、「呼吸」や「型」を駆使する場面を振り返ることができる。1000枚以上のアニメ原画に包まれる空間では、戦闘場面からほのぼのとした日常の一コマまで柱たちの様々な表情を堪能でき、表情の奥に隠された壮絶な過去や悲痛な覚悟に想いを馳せずにはられない。

本展では、「作品」や「表現者」さらにはそこに至る「プロセス」を大空間で体験できるミュージアムで、アニメ、マンガ、音楽などのポップカルチャーや現代アート、デザインの分野で、年間約4本の大型展が予定されている。

アニメ「鬼滅の刃」は、幅広い世代から愛されているアニメである集英社ジャンプコミックス1巻～23巻で、累計発行部数1億5千万部を超えた「吾峠呼世晴」による漫画作品が原作である。このアニメーションはufotableの制作で、24年5月から放送されていた「柱稽古編」の最終話の放送後に、『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』が発表されて大きな話題を集めている。



吾峠呼世晴/集英社・アニプレックス・ufotable